

道路と除雪

都市基盤の根幹をなす道路は、町民の日常生活にもっとも身近で、人々の移動や車輛運行に欠かせない重要な社会基盤であります。

これまで本町では厳しい財政事情の下で、状況に応じ緊急性や必要性など優先順位を付けながら整備を進めてまいりました。

本年度は、町道整備においては、北7条東通歩道造成工事、西1丁目通3号（都通り）道路改良工事、北2条西通道路改良工事を継続実施するほか、用地の調整が付かず実施が先送りされていた「ひらふ高原5号線」の道路改良舗装は、用地問題解決の見通しができたことから工事を実施いたします。

また、北7条西通は、通学路として児童生徒の通行が多いため、交通安全の確保を図る観点から、現在実施中の北7条東通歩道造成事業が完了後、歩道を造成するための概略設計に着手いたします。北1条西通は、生協から西大通（高校通）まで改良舗装済みであり、今後、国道5号までの改良工事実施のための測量設計をすることといたしました。

また、橋梁については、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化により重量制限を行うなど、農産物の運搬等に支障をきたしていた寒別橋の補強修繕工事を本年度から3カ年計画で実施いたします。

一方、冬期間の除雪対策は、本町が抱える最重要課題であり、町民生活路線の確保と、除雪体制の維持・強化を図るため、事業予算確保と民間委託を進めながら、除雪経費の節減と効率化に努めてまいりました。

昨年度の除雪ドーザ更新に続き、本年度は購入後20年を経過し、経年劣化が著しい除雪専用トラックを更新し、作業効率・機動力のより一層の向上を図ります。

また、私道等に対する助成は、引き続き、除排雪経費の一部を補助し、冬期間の生活環境の確保を図ります。